



豊田おいでんまつりへの提言 ~豊田おいでんまつりの魅力に磨きをかける~ 【概要版】

1. 市民にとってのまつりの意義

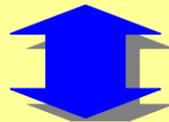
市民が楽しみ元気になるまつり
市民の連帯意識とまちづくりへの貢献
都市の魅力の発信と市民の誇り



2. なぜ、まつりを見直すのか

まつりが果たしてきた効用

多くの市民に楽しみを与えてきた。
市民の連帯意識やふるさと意識を醸成してきた。
元気で活力あるまちをアピールしてきた。
全国屈指の花火大会として名物になった。
経済効果をもたらしてきた。



現状のまつりの課題

参加型で楽しむ踊りと魅(見)せる踊りの双方が混在
一部踊り連の著しいモラルの低下
風紀上好ましくない観客の増加と青少年への悪影響
管理の限界を超えた参加者と会場の広さ
騒音、交通、治安など住民生活への悪影響の拡大
花火大会会場における群集雪崩の危険
ごみの散乱等による環境への悪影響



3. これからのおいでんまつりのあり方

参加のしやすさと魅(見)せる踊りを両立したまつり
日本一質の高い花火が見られるまつり
市民・事業者・行政の共働によるまつり
モラルの高い安全・安心なまつり
いつまでも継承され、市民の自慢となるまつり



4. どのようにして実現するか

提言 1

参加のしやすさと魅(見)せる踊りを両立したまつり

① 参加型の楽しい地域のまつり

地域や学校、事業者などが主体となり、手作りのおいでんまつりを市内に広げ、まつりを通じた一体感を醸成する。

② 観客を魅了する中心市街地のまつり

管理の行き届くコンパクトな会場で、個性的でエネルギッシュな踊りや統一の美などで魅せ、活力ある豊田市を象徴するまつりとする。

③ 適切な時期と時間で開催されるまつり

地域のまつりは市民が参加しやすい時期と時間に配慮し、中心市街地のまつりはできれば夕方から夜間にかけての開催が望まれる。

提言 2

日本一、質の高い花火が見られるまつり

① 更なる質の向上を目指した花火大会

国内屈指の技術を持つ花火師による質の高い花火を広くPRするとともに、ショーとして必要な音響やアナウンスなどの演出を図る。

② 安全で快適な花火大会

安全を最優先した会場設営のほか、消防署や警察署など関係機関との連携強化に努める。また、安全で快適な観覧環境をつくる。

③ 適切な時期で開催される花火大会

まつりのフィナーレとなるよう、全国各地の花火大会の日程や気象を考慮して実施する。

提言 3

市民・事業者・行政の共働によるまつり

① 市民が参画するまつり

行政が一方的に与えるまつりではなく、市民・事業者・行政のパートナーシップ(共働)によるまつりとする。

② 機動性のある実施母体によるまつり

まつりの実施母体は、コンパクトで機動性のある組織とし、まつりが永く市民に愛されるためのサポーターを募る。

③ まちづくりに貢献できるまつり

まつりを中心市街地の活性化に生かす取り組みを行い、賑わいや活気を創出し、各地域においては観光振興にも結びつけることが必要。

提言 4

モラルの高い安全・安心なまつり

① 安全・安心なまつり

安全で安心なまつりを開催できる体制と、関係機関との連携、周到な警備計画を策定し、的確で早い対応を行う。

② モラルが高く自己責任あるまつり

まつりの質を向上させるため、明確なルールを設けるとともに自己責任を求め、誰もが感動するまつりとする。

③ 環境にやさしいまつり

まつりは、会場周辺の住民の暮らしに配慮するとともに、クリーンキャンペーンを実施し、環境にやさしいまつりとする。

提言 5

いつまでも継承され、市民の自慢となるまつり

① 応援したくなるまつり

まつりの安定的な発展のためには、資金などの資本が必要なため、協賛活動を推進し、行政負担に頼り過ぎない開催に努める。

② 子どもたちに受け継がれていくまつり

まつりがいつまでも継承されるように、子どもたちに受け継がれていく取り組みが重要。

③ 市民の自慢となるまつり

おいでんまつりを「わが地域、わがまちのまつり」として、市民が内外に自慢できるよう魅力の向上に努める。